

Eri Liao^{vocal}
Falcon^{guitar}
佐藤浩一^{piano}

2025 12月27日 (土)

開場 19:00 night live

開演 19:30

(2ステージ入替無) (1 drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



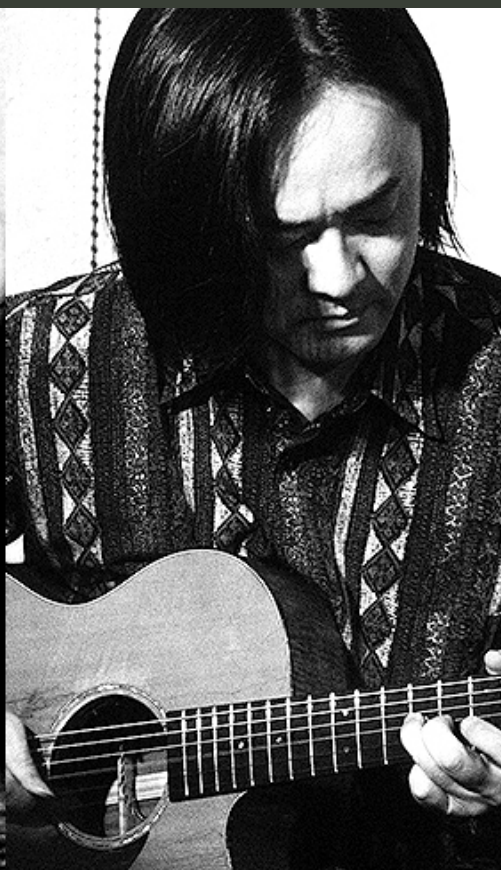
佐藤浩一

1983年生まれ。神奈川県横浜市出身。洗足学園音楽大学、バークリー音楽大学卒業。ジャズ／即興／室内楽／ポストクラシカル／ポップス／映画音楽など幅広いフィールドで活動。繊細なタッチで研ぎ澄まされた音色を放つピアニストとして、伊藤ゴロー、福盛進也、狭間美帆 m_unit、象眠舎、原田知世、林部智史などのグループに参加。映画「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」(2020年)「ラゲリより愛を込めて」(2022年)「傲慢と善良」(2024年)などの劇中音楽のピアノ演奏を担当。また作曲家として数多くの楽曲を発表、2021年には全て自らの作曲による2枚組のアルバム『Embryo』をnagaluからリリース。ソロピアノによるDisc1と弦楽カルテットを含むアンサンブルによるDisc2からなるこの作品で、唯一無二のピアノズムと作曲家／編曲家としての魅力を存分に発揮。編曲家としては林部智史やWith ensembleなどで多くのシンガーのアレンジを手掛ける。2023年にはダンサーの笠井詠と平山素子との公演「フーガの技法を踊る」でJ.S. バッハの「フーガの技法」全曲を演奏、2024年にはマリア・シュナイダーのチェンバー・オーケストラで日本初演の作品を演奏するなど、クラシックにも演奏の幅を広げている。



Eri Liao

歌手。台湾・台北市出身。幼少時から自身のルーツである台湾原住民族タイヤル族の音楽や踊りに親しむ。東京大学大学院在学中、ジャズに関心を持ちニューヨークへ。文芸創作とジャズを学ぶ。祖母の死をきっかけに本格的に音楽活動に取り組み、現地ミュージシャンとセッションを重ねる中、Billy Harper (ts) ボーカルプロジェクトメンバーに抜擢され、シンガーとして活動開始。ジャズから台湾原住民音楽、民謡など、古今東西、言語やジャンルを超えて心揺さぶる“うた”の世界を歌い続けている。2017年9月、Eri Liao Trio 1st アルバム「紅い木のうた」発売。2022年7月、第9回国際口琴大会(ベルリン)にて Lubuw (タイヤル族竹口琴) 演奏。
<https://eriliao.jimdofree.com/>



FALCON

アコースティックギターを軸にエフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)等と共演。Eri Liao Trio、残歌、残響 SWIFT、サイバー民族団など多数のバンドに参加、CDリリース。自然や風景を描写した作曲、様々な地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にしたダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2019年2nd ソロアルバム“美しき様々の夢”発売。2023年10月にEri Liaoと飛鳥 strings をフォーカスして作詞作曲、アレンジも手掛けて“うた”に取り組んだプロジェクト「ハルカストリングス」の1st album“風の中の夢”を発売。